

月刊 サンエスウォッチング

Vol.73

大切な歯 Dixna ラ・クランクの場合

▶フロントチェンリングの歯数構成で自分なりの走行環境に応じた乗りやすさを追求していきたい、との思いで Dixna ラ・クランク (Vol.9/25 参照) のチェンリング歯数は決めていきます。発表の 2012 年、リア 10 スピード (S) 廻りから始まった多段広域スプロケットの出現により、快適で満遍なく使用できるギア比構成が必要と考えました。それは多くのライダーへのフィッティングレクチャー (Vol.2 参照) の経験から生まれたもので、10S を対象としたフロント 49×35T を作りました。当時 10S で 11~32T や 12~25T の構成がありました。その後 11S の 11~28T が殆どとなり、有名メーカー完成車のフロントは、ほぼ 50×34T となる時代が来ます。11S に 11~30T で組む海外完成車メーカーも現れ、現在の 12S に至ってはフロント 50×34T 又は 52×36T、リア 11~30T 又は 34T となっています。(以上はシマノ社の主要なロードモデルを示しています)

▶少し戻りますとラ・クランクは、2012 年発売当初 49×35T のみ、翌年 11S の 51×37T が生まれ、CX 用 45×33T、ツーリング用 43×27/25T を発表、2015 年に更に快適志向のロード向 47×31T が登場します。現在 11S 系では多くの歯数を持ち、ロード 12S 系では 3 セット、12S の CX 用も加わります。他にオーバル (Vol.25 参照) やナローワイドシングル、ディスク型モデルやフロントシングル化に対応する 36T から 46T までのシングルもラインナップに加わっています。



▲左から 47×31T・49×35T・51×37T (ラ・クランク チェンリング: S-12 スピードセット)

▶さて、狭小 Q ファクターと豊富なクランク長に特徴のある「ラ・クランク」、歯数の特徴は何処にあるのか・・・。

とにかく、快適で安全な速度志向を前提として、もうちょっとこの辺りの回転数が欲しいな・・・この隙間の回転域が欲しいな・・・スプロケットを満遍なく使えないのは気分的にも嫌だし勿体無いな・・・下り坂で力んで回すこと無いな・・・というような現実性に基づいた要望を具現化しています。アウターギアに奇数を採用している点も特徴としてあります。奇をてらっていると言えばそれまでですが、他にない構成とすることで少しの痒みにも届いて欲しい、との想いが込められています。



▲2012 年、東京サンエス総合カタログ Vol.20 で掲載された「ラ・クランク」



【KURU&UX 2周年】

2022 年 7 月に「サンエスペース 羽根倉通り」(Vol.49 掲載) 内にオープンしたソフトクリーム店「KURU」と製品に触れていただけるルーム「UX」は、皆様のおかげで 2 周年を迎えることとなりました。ありがとうございます。明日からの 3 日間 2024.7.13/14/15 は 2 周年感謝デーとなります。これからも自転車ファンに限らず多くの皆様楽しんでいただける空間作りに努めてまいります。

KURU T シャツ



▲2 周年に合わせて KURU オリジナルブランドの T シャツを作りました。

OnebyESU T シャツ



▲弊社オリジナルブランドである OnebyESU (ワンバイエス) のロゴ入り T シャツも作りました。2 色 4 サイズで来週から販売を開始いたします。全国小売店様までお問い合わせください。

● 次回、月刊サンエスウォッチング Vol.74 は 2024 年 8 月 9 日 (金) の配信予定です。